

令和元年度 提案型公共サービス民営化制度審査会での審査結果一覧表

No.	事業名	担当課	提案概要	提案の採否	審査結果の理由	提案者
1	総合窓口の運用業務	市民課	<p>●本庁舎、我孫子行政サービスセンター、天王台行政サービスセンター3か所での市民課業務に関する窓口対応及び関連事務業務の委託化を行う。</p> <p>・委託業務範囲：① 住民証明、② 住民異動届、③ マイナンバー受付、④ 印鑑登録、⑤ 戸籍証明、⑥ パスポート窓口、⑦ フロア窓口</p> <p>※職員対応業務として戸籍に係る届出、行政SCの他課業務が残る。</p> <p>●委託化立ち上げ段階での運用安定化、市常勤職員との円滑な連携のため、嘱託・臨時職員のうち、希望する者は全員現待遇維持で転籍受入を行う。</p> <p>●市民の利便性向上、偽装請負懐疑の解消のため、本庁舎1階フロアのレイアウト変更及び国保年金課との連携を実施し、市民課、国保年金課の統合窓口運用を行う。</p>	採用	<p>他市での導入実績も多くあり、団体能力として信用性があることに加え、広域的なエリアで業務に対応できる人員をシェアできること、他の自治体での良い対応方法を我孫子市に取り入れていくことができるという強みがある。</p> <p>市の業務について熟知しているうえでのレイアウト変更により、業務の工数の削減が期待できる。</p> <p>新たな技術の導入（AI/RPA）の推進も本提案の費用の中で行えることができ、独自性がある。</p> <p>【審査会での委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案の金額は市として財政負担が増えることになる。人件費を考慮し、業務内容を精査した協議をしておくことが必要。</li> <li>・様々な受託実績があり、他市の良いノウハウを吸収していくことができる。</li> <li>・実際に業務を行っていくにあたり指示系統が2つに分かれることが懸念されるので確認が必要。</li> </ul>	パーソルテンプスタッフ株式会社
2	図書館の情報化推進 学校図書館活用の推進	図書館指導課	<p>●第1次教育ICT業務委託にて整備したセンター基盤、回線を共有することによるトータルコストの削減及び教育ICT事業との連携を行う。</p> <p>●マルチベンダーとして我孫子市に最適な図書館パッケージ及び機器の選定を行う。</p> <p>●市の「子どもの読書活動推進計画」に沿った、中長期的な視点での図書館環境の構築を行う。</p> <p>●上記3点の実施による、市民図書館の市民サービスの向上と子どもの読書環境の向上と読書活動の推進を実現する。</p>	採用	<p>教育ICTにおけるデータセンター及び回線の活用、マルチベンダーとしての市にとって最適なパッケージの選定による、「子どもの読書活動推進計画」に沿った、中長期的な視点での図書館環境の構築は、提案者にしか行えない独自性がある。</p> <p>【審査会での委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの統合は良いことだと思うし効果もわかるが、市民図書館と学校図書館のネットワーク以外でのコラボレーションや費用対効果でのメリットも期待したい。</li> <li>・「子どもの読書活動推進計画」を推進していくためには今後もいろいろな経費がかかってくるのでそれもふまえて提案されている金額を考えていった方が良い。</li> </ul>	東日本電信電話株式会社

3	総合窓口の運用業務	市民課	<p>●総合窓口における、より一層の市民サービスの向上、窓口対応の平準化、業務効率化による負荷軽減及び負荷軽減の結果可能となる最適な人的配置の検討の機会創出を目的に、ICTを活用した新たな総合窓口向け業務支援システムの運用を行う。</p> <p>●「DNPナビ付申請書配信サービス」を使用することで、①自動的に必要な申請書を特定、②一度入力すればすべての申請書に反映、③記入漏れ・記入ミスのない申請書で審査、④迷わないための提出窓口のご案内を実現する。</p> <p>(ワンストップ、ワンスオンリーを実現)</p> <p>●市の将来像と課題の共有、段階的実現方法の共有、我孫子市の運用に向けた新機能(ワンスオンリーを実現するQRコードなどによる所管課への申し送り機能及びデータ連携機能)の開発を行いながら事業を推進する。</p>	採用	<p>行政の手続の電子化がなかなか進まない中、タブレットによる「ナビ付申請書」の導入による市民の受益は大きい。</p> <p>今回の提案にあたり新たに開発されたQRコードを活用した複数の部署間の連携は我孫子市で初めて実証実験をするもので独自性がある。実証実験であるため安価な導入も期待できる。</p> <p>今後行政の仕事がさらにシステム化・電子化が進んだときには対応しやすく汎用性がある。市民課のシステムに限らず活用していくことも可能と考えられる。</p> <p>【審査会での委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡張しやすいようにシステムが構成されているように感じる。将来的には行政の仕事のやり方が変わってくると思うので、その時にまたゼロから作り直す手間がかからないという意味では非常に優れている。</li> <li>・所管課が再度入力する手間がなくなるのであれば、その部分の人件費削減も期待できるのではないか。</li> <li>・このシステムなら実施しながらの改善も容易なのではないか。</li> <li>・QRコードの活用を出してきたということは、良いことと言える。</li> </ul>	大日本印刷株式会社
---	-----------	-----	--	----	---	-----------

※今回採用となった提案は、事業の必要性は高いものの、実施は見送ることとなりました。